

どうそう会報

中央大学電気工学科

第 16 号

発行元 〒112
東京都文京区春日 1-3-27
中央大学 電気工学科
TEL. 03-813-4171(内51)

あいさつ

会長 吉江 実成彦

同窓会員の皆様には恙なくお過しのことゝご推察申し上げ大慶に存じます。さて、昨年五月二十七日に第二十二回同窓会総会が開催され、その席上、不肖私が会長の大役を仰付かりました。同窓会の長年の目標の一つであり、また、前会長の大類先生も長年に亘り唱え続けられました「同窓会の運営は同窓生の手で」が実現した次第です。また、この機会に、同窓会のために長年ご尽力戴いた先生方のご苦勞に報いるため、教職員の方々による特別会員制度を設け、特別会員の会費免除を提案し、総会に参加された会員皆様の賛成を得ました。

一方、この一年を振り返って見ますと、同窓会の世帯が大きくなった現在同窓会の運営が年々大変なものになって来ており、一つの曲り角に來ているのも事実であります。そこで、同窓会員有志による常任幹事(仮称)制度を取り入れ、これら常任幹事諸氏により、同窓会の運営を真剣に考え、会員皆様の賛同のもとにこれを実施し、同窓会が会員の皆様と共に発展することを真に願うものであります。こゝに皆様の心からなるご賛同をお願いする次第です。

この度、第二十三回の同窓会総会が立派な多摩校舎で開催される運びとなりました。前回の総会通知の折、多摩校舎での開催予定をお知らせ致しましたところ、二百名以上の会員から出席される旨ご返事を戴いております。今回は未だ曾てない多数の参加を戴けることゝ幹事一同喜びに浸っております。当日は総会前に、皆様に最近の中大の歩みを紹介できます様、「青春のキャンパス」、「躍進する中央大学」、「大学の青春」と云うVTRの上映を準備致しております。なお校内の見学もプログラムしてありますので、是非ご出席くださる様心よりお待ち申し上げる次第です。

前回出席者 (敬称略)

- 28年卒 吉江, 竹中, 長田, 松田, 石井, 田中
- 29年卒 密山, 戸村, 小林, 池田, 黒崎, 弓削田
- 30年卒 木村, 行方
- 31年卒 遠藤, 吉村, 垣田
- 32年卒 青木
- 33年卒 斉藤, 萩田, 鈴木, 市川, 高橋
- 34年卒 池上, 島崎, 渡部, 秋山
- 35年卒 村井, 丸森, 鈴木
- 37年卒 藤田
- 38年卒 木本
- 39年卒 丸山, 大庭, 青野, 渡辺, 牛島, 岡田, 木下, 篠田
- 40年卒 門原, 松村, 吉田, 永田
- 41年卒 荒牧, 小川, 海和, 高野
- 42年卒 志村, 山田, 下吉, 萩野, 橋詰, 午山
- 43年卒 岩野, 岩瀬, 平田, 秦野
- 44年卒 森下
- 45年卒 小川, 石川, 大悟法, 岡部
- 47年卒 菅原
- 48年卒 渡辺, 北村, 中村, 堀越, 田中
- 49年卒 中村, 峰岸
- 50年卒 安田
- 52年卒 三上, 佐久間, 寺内, 飯田, 水車, 浅尾
- 53年卒 安田, 金子, 小原, 井野, 小林, 小林, 大井上, 田口, 小峰, 方波見, 梅林, 菊地



前回出席された方々



御挨拶

小林 健 一

同窓生の皆さん御元気に御活躍のことと存じます。本年四月より主任教授という重要な業務を御引受けすることになりましたので本誌面を御借りして御挨拶少々学内情勢を御報告申し上げます。

私共の電気工学科も御蔭様で去る三月二十五日に二十七期生二二七名を社会に送り出すことが出来ました。御同慶にたえませぬ。新たに社会人になられた皆さんの華々しい御健闘を御祈り申し上げますと共に同窓の先輩諸兄には巢立ったばかりの後輩諸子を暖かく迎え、色々な意味でリードしてあげて欲しいと思います。

さて、大学内の現況はと申しますと既に御存知のように中大の本家である法文系の全学部が多摩へ移転して大拡張を行なって丁度一年、すべての学事が順調に行なわれ十六万坪の緑なす広野と五万四千坪の白亜の学舎を連らねたキャンパスに集い若人達を見ると正に大学としての理想像であります。別紙にて御案内がありますように今回はこの新装なった多摩校舎で同窓生の皆様と御目にかゝれる予定ですので多数の方の御参加を楽しみにしております。次に目を我々の理工学部へ向けば、諸般の事情により多摩への移転は致しません、それに見合うだけの拡張発展を行うべく昨年暮より工事に取掛かり、来年暮には完成予定になっております。現在六千六百坪の施設が一挙に九千三百坪増えて一万五千坪と二倍半近くになる筈であります。完成の晩には新たな理工校舎で総会を開くことを御約束出来ると思っております。そのようなわけで我々教職員一同何かと忙しい中に新学期を迎え（第三十一期生二二三名入学）たところ御座居まして、先生方も皆御元気に教育、研究に

精出しておられます。昨年度一年間特別研究員として戦列から離れておられた吉久先生もこの四月より御元気に専務に復帰されました。これに代ってというわけではありませんが、助教授の木下源一郎先生が本年五月より在外研究員としてフランスへ留学される予定になっております。更にその後は本年度にかかります神原先生、篠田先生の留学が決まっております。電気科内の国際的な動きは一時期前には想像出来ない位活発になっております。勿論これら長期留学の他に短期間の海外出張も数多く今後益々増加するでしょう。又学校より出てゆくだけでなく

海外より著名な学者を御迎えしての講演会等も毎年一、二回（電気科主催）ありまして、うれしい忙事と言わざるを得ません。なお去る三月一杯で技術員の本村君（昭和五十年卒）がKK日本ビーマックへ転出し、新たに閑君（昭和五十二年卒）が技術員としてスタッフに加わりました。

母校電気科の発展のため同窓生諸先輩方と同様に在校教職員も頑張っております。お互いに Bon Courage. と声をかけ合ってゆこうではありませんか。

昭和五十四年四月（昭和二十九年卒第二期生）

昭和53年度会計報告

担当 志村公夫

収入	支出
前年度繰越金 1,072,158	52.53年度総会費 440,000
52.53年度総会費 425,500	通信印刷費 238,200
預貯金利息 8,628	アルバイト代 70,200
名簿売上代 4,000	事務運営費 16,325
終身会費 618,000	名簿関係費（通信費） 900
その他寄附金等 0	慶弔費 10,750
計 2,128,286	次年度繰越金 1,351,911
	計 2,128,286

編集後記

同窓会も同窓生の人数の増加と共に運営が厳しくなっています。3月30日多摩校舎で吉江会長、黒崎、竹中、遠藤副会長、小林、市川、尾崎幹事が集まり、種々検討した結果、常任幹事会を作って会の運営に当たらどうか。ということになり、現在検討中であります。皆様方御協力を節にお願い申し上げます。



記念植樹のお願い

拝啓 新緑の候，皆様益々御清祥のこととお慶び申し上げます。
さて，昨年，中央大学の多摩校舎が完成し年毎に囲りの樹木も
その濃さを益してきております。

以前から我々電気工学科同窓会も記念植樹の件が話題になって
いましたところ，この度同窓会総会を多摩新校舎で行なうのを
機会に記念植樹をすることになりました。

何とぞ趣意に御賛同の上，この計画が達成できますよう御協力
の程お願い申し上げます。

敬 具

電気工学科同窓会
会長 吉江実成彦

1. 募 額 1口1,000円
1. 募金期間 7月末日
1. 送金先 同窓会総会御出席の方は当日会場にて，また，
御都合により御欠席の方は

第一勧業銀行池袋支店（普）中央大学電気工学科同窓会

№ 192-1466052

宛

富士銀行池袋支店（普）中央大学電気同窓会

№ 230-416166

替込用紙にて御送金下さい。

なお，この場合は，同上銀行送行の受領書を
もって本会の領収書に代えさせていただきます。

追記 今回の同窓会総会は幹事グループとして多摩校舎に勤務される竹中副
会長を始め関係の先輩方と東亜エンジニアリングと協和電設の先輩方の御協
力に負うところが大きいです。厚く御礼申し上げます。